

令和6年度コスギコミュニティ推進会議 議事録

日時：令和6年7月24日（水） 15：00～17：00

場所：中原区役所5階 505会議室

出席者：別紙のとおり

傍聴者：なし

公開及び非公開の別：公開

●会議次第

1 開会

2 委員紹介及び会議の趣旨説明等

(1) 委員自己紹介

(2) コスギコミュニティ推進会議について

3 取組内容等

(1) 「コスギ・コミュニティビジョン2040」 アクションプログラムに基づく取組事例

- ・区役所の取組事例説明（各課出席者から説明）

(2) 地域団体等のコミュニティ活動の取組紹介

- ・中原区社会福祉協議会
- ・武蔵小杉エリアマネジメント（武蔵小杉プラットフォーム）
- ・NECプロボノ倶楽部

4 意見交換

5 その他

●コスギコミュニティ推進会議 議事録

鈴木課長	●事前説明 <ul style="list-style-type: none">・会議公開について・会議録については「要約方式」にて作成すること・議事録作成のため、会議の録音を行うこと
今村副区長	1 開会 <p>開会挨拶</p>
鈴木課長	2 委員紹介及び会議の趣旨説明
各委員	(1) 委員自己紹介 <p>本日ご参加いただいている皆様から自己紹介をお願いできればと思います。事前にお配りしております名簿の順にお名前をお呼びいたしますので、一言ずつ自己紹介をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">＜委員紹介（自己紹介）＞</p>
鈴木課長	(2) コスギコミュニティ推進会議について <p>続きまして、本日のコスギコミュニティ推進会議の趣旨についてご説明いたします。コスギコミュニティ推進会議は、武蔵小杉駅周辺地域において「顔の見える関係」が生まれることで、様々な地域課題に対応できる体制を構築するとともに、生き生きとした地域活動が継続的に行われ、平成28年に作成された「コスギ・コミュニティビジョン2040」に掲げる将来像を実現できるよう開催するものです。会議の委員は固定メンバーではなく臨機応変にご参加いただき、意見交換等をさせていただく趣旨となっておりますので、本日も忌憚のないご意見をどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>今回の会議の進め方について簡単に説明させていただきます。</p> <p>初めに、「8つのアプローチ」に基づく区役所の主な取組、地域団体の取組の説明を順番に行います。取組の報告が終わったのち、小杉地区の現状や課題を踏まえた、コミュニティ活性化や持続可能なまちづくりを進めていくための方向性や、具体的な取組について意見交換を行います。</p> <p>それでは、これから議事に入りたいと思います。</p> ●座長・副座長の指名について <ul style="list-style-type: none">・座長については、コスギコミュニティ推進会議設置要綱第4条の2に基づき小島聡委員としたが、都合により本日の会議を欠席した。・同要綱第4条の3に基づき谷本有美子委員を副座長とし、座長の職務を代行して本日の議事進行を行う。

<p>青柳委員 並木委員 深谷委員 山下係長</p>	<p>3 報告 (1) 「コスギ・コミュニティビジョン 2040」アクションプログラムに基づく取り組み事例について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリア防災計画、避難所運営会議について説明 ・ゆるやかなつながりづくり、みんなで支え合う子育て支援、タワマンエリアの民生委員支援について説明 ・中原区市民提案型事業、中原区ソーシャルデザインセンター、なかはらメディアネットワークについて説明 ・企業等と連携した地域の魅力創出・発信の取組、こすぎコアパークを利用した社会実験、中原区民交流センター「なかはらっば」の運営について説明
<p>谷本副座長</p>	<p>4 意見交換</p> <p>発表ありがとうございました。行政からの発表を聞かせていただきましたが、幅広い分野にわたるので、この会議では何に焦点をあてて考えていくべきかについて確認しておきましょう。</p> <p>この会議の所掌事項のメインになっているのは、「コスギ・コミュニティビジョン2040」の推進及び実行管理に関することとなっています。その推進にあたっては、ロードマップ①「コスギ・コミュニティビジョン2040」の展開、②アクションプログラムの展開が位置付けられています。②について、2020年の段階で、中間的にアクションプログラムの実施内容を報告書としてまとめました。この報告書では、今後の方針について、3つの方向性に向かって、8つのアプローチで取り組むことを整理されております。中原区役所の所管担当には、これらのアプローチに整理し、説明していただきました。</p> <p>今回の会議では、事業単体の成果ないし課題ではなく、この方向性に沿って、アプローチとして成果が出ているのか、という視点を大事にさせていただくと、内容が散漫ならず議論が進みますので、ぜひご協力をいただければと思います。それでは、御意見や御質問があれば、よろしく願いいたします。</p>
<p>野口委員</p>	<p>一つ目に、コアパークが都市公園法上の公園と位置付けられる中で、武蔵小杉エリアプラットフォーム（以下、エリプラという）がどのような根拠に基づきマネジメント料を徴収しているのか、収益は具体的にどのようなことに還元されているのか、について教えてください。また、コアパークはリニューアルを経て改善したものの相変わらず滞留せず歩行者の通路になっていると感じました。リニューアル前後でどのような変化があったのか、教えて下さい。</p> <p>二つ目に、民生委員について、マンションの中の見回り活動ができないことについては、私も主要な課題と認識しています。この課題の解決の方向性や、タワーマンションという極めて特殊な状況下で民生委員の活動を広げる方法や、民生委員がどのように機能するのかという点について、教訓的な話があったら教えて下さい。</p>

	<p>三つ目に、防災に関して、タワーマンション特有の問題に対する取組状況等を教えて下さい。</p>
山下係長	<p>マネジメント料はイベントを実施する際の手続き代行や、イベント前の挨拶周りなどをイベント主催者に代わって行うなどの料金にあたります。収益については、地域課題への対応に使っています。</p>
野口委員	<p>料金の法的な位置づけについて端的に教えて下さい。もう一点、滞留効果についてはいかがでしょうか。印象で結構ですので、教えて下さい。</p>
山下係長	<p>料金の法的な位置づけについて、公園の占用もしくは利用については、川崎市都市公園条例第3条に基づき、市長の許可を受けなければならないと定められております。</p> <p>コアパークで実施している社会実験についても、当該条例に基づき、武蔵小杉エリアプラットフォームはイベント主催者と共催の立場をとり、申請行為を行い、市長の許可を受けて実施しております。</p> <p>武蔵小杉エリアプラットフォームは、イベント主催者の応募により、行政等との調整などを行います。その調整（各種申請・協議・許可の手続き）を行うこととその対価としての料金をお支払いいただくことについて、イベント主催者から事前に合意を得た上で、各種調整を行っているため、法令は遵守されているものと考えております。</p> <p>滞留効果については、季節によるものの、滞留が増えた印象はあります。しかし、夜間に若者が公園内で飲み会を行い、騒音やゴミのポイ捨てが発生し、度々苦情もきております。この課題に対して、料金から得た収益を活用し対策について検討しているところです。</p>
野口委員	<p>飲み会自体は悪いことではないと思っているものの、飲み会で悪いことをするのは当然問題ですね。</p>
並木委員	<p>民生委員の御質問について、民生委員が自らマンション内の防災センターの職員と関係性を築き、頼まれごととして協力したり、情報を入手したりしている事例があります。これは、個人の働きかけにより成り立っており、防災センターのルールもそれぞれであるため、一律的な対応は難しいところがあります。</p> <p>民生委員の人数について、現在国では約 440 世帯につき 1 人という基準がありますが、この制度を制定した当時の状況と、現在のタワーマンションの状況は異なるため、必ずしも法律と同じ基準で考えることでもないと思っています。</p> <p>今我々ができることは、民生委員の悩みや事例などを抽出することだと考えています。民生委員の集まりで得た知見を大事にし、我々としてできることを行っています。ちなみに、幸区のとある大規模マンションにおいて、住民がマンション自治会を立ち上</p>

野口委員	<p>げ、自治会長が民生委員も兼務した、という事例があります。個人的見解ですが、円滑に人材が選出されるには、土台となる組織があることが大事だと感じています。</p> <p>理想としてイメージしているのは、マンション一棟につき自治会あるいはコミュニティ協議会を設置し、その組織が管理組合の会議にも出ることができる体制です。民生委員やケアマネージャーが協働で、タワーマンション特有の課題について、提案することができる、というような仕組みがあると、安心してタワーマンションの運営ができると思います。他の地域で既に同じような事例があるようですが、この構想はこの地区で実施可能でしょうか。</p>
並木委員	<p>隣の家の様子がわからない、という状況の中では、個人的には難しいと感じております。マンションの構造の話につながるとは思います。不可能ではないと思いつつ、プライバシーの問題もあるので。</p>
谷本副座長	<p>「コスギ・コミュニティビジョン 2040」のロードマップの中では、コミュニティの連携強化に向けた取組の推進でコミュニティガバナンスの強化に向けた取組を進める、という観点で取組を行ってきましたが、武蔵小杉駅周辺地域は超高層の住宅に人口が集中する特殊なエリアであり、そこがまさに都市型コミュニティの最先端の課題を抱えておられると。課題解決というのが、ほかの地域にも活用ができるのではないかと思いますので、ぜひその観点で皆さまにも意見交換をしていただければと思います。</p>
青柳委員	<p>エリア防災計画についての質問ですが、発災時には帰宅困難者に加え、マンション住民が一時的に地上に降りることで駅周辺はさらに混雑することが想定されます。今年度は、マンション住民の災害時における避難行動について調査等をする予定です。</p> <p>マンション防災については、12棟中11棟のタワーマンションがそれぞれ自主防災組織を立ち上げております。区役所としては、ほかの町会自治会と同様、活動に対する支援を行っております。</p> <p>避難所については、マンションに付随する避難所として四つの避難所が武蔵小杉駅周辺にあり、管理組合の方や防災担当の方なども避難所運営会議に参加していただいています。私が参加した会議の中では、マンションの方々も町内会と役割分担を行い、良いコミュニケーションが取れている印象でした。また、マンション独自の取組が無い中で、先日、エリマネ主催でマンション防災に関する講演会が開かれました。マンション防災についての課題が多岐にわたることを改めて認識したところでございます。</p>
野口委員	<p>NEC 株式会社は、区内に事業所をもつ企業としてエリア防災計画の中で何か位置づけられているのですか。</p>

青柳委員	<p>企業を計画で位置づけることはしておりませんが、同計画を検討する協議会の一員として協力をいただいております。</p>
山口委員	<p>弊社の新規の取組としては、社会福祉協議会が設立した災害防災ボランティアセンターにて、一緒に勉強会行う予定があります。</p>
山本委員 山口委員 安藤委員	<p>3 報告 (2) 地域団体等からのコミュニティ活動の取組紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中原区社会福祉協議会の取組について説明 ・ NEC プロボノ倶楽部の取組について説明 ・ 武蔵小杉エリアマネジメントの取組について説明
谷本副座長	<p>4 意見交換</p> <p>ありがとうございました。御意見や御質問がございましたら、お願いいたします。</p>
野口委員	<p>一つ目に、社会福祉協議会の取組について、タワーマンションの高齢者や障害者も来ると思いますが、タワマンの高齢者等に個別に接触する機会があるのか、また、どのような機会があるのかについても併せて教えて下さい。</p> <p>二つ目に、エリプラが都市再生推進法人になれる可能性について、また、収益をどうするか、という点について、イメージがあれば教えていただきたい。それから、業務の負担についてもお聞きしたいと思います。</p> <p>三つ目に、NEC プロボノ倶楽部の取組について、高齢者がマンションの中で孤立化することに対するアプローチとして、貴社の技術で解決するリソースがあるのか、について伺います。</p>
山本委員	<p>社会福祉協議会の質問について、現状、直接タワーマンション居住の高齢者にこちらから直接アプローチはしておらず、マンション居住者で問題を抱えている方から相談や問い合わせを受ければ、問題解決に向けて個別に対応する形になります。</p>
野口委員	<p>町内会は社会福祉協議会と関係性があるようですが、タワーマンションは社会福祉協議会とどのような関係性があるのでしょうか。</p>
山本委員	<p>武蔵小杉駅周辺地域は、小杉地区社会福祉協議会のエリアとなりますが、小杉地区社会福祉協議会を通じて賛助会員にならないと賛助会費の依頼はしていない状況です。小杉地区社会福祉協議会からすると、地元の町内会・自治会にマンションの住民の方に入会していただけますと、地区社会福祉協議会への参加のルートも出てくるのですが、現状は難しいようです。</p>

安藤委員	<p>エリプラが今の段階で都市再生法人になるのは、厳しいと感じています。要因は様々ですが、令和5年度の収益が250万円と低い水準であり、地域還元も厳しい状況であること、人材不足の課題も抱えており、体制的にも弱いことなどがあります。</p> <p>コアパークの社会実験では、エリプラが実施するからには、街のためになるようなことを実施いただき、得た収益を街のために使い活性化させる、という循環を作りたいと考えています。そのためには収益を上げる必要がありますが、新たな収益事業（広告事業など）を実施するには課題が多くあります。将来的に可能性はあるものの、今の段階では厳しいものがあると感じています。</p>
野口委員	<p>川崎市が都市再生推進法人の指定に向けた取組についての話は聞かないので、躊躇している部分があるようですね。</p> <p>コアパークだけでなく別の収入源を見つけないといけないですよね。</p>
安藤委員	<p>本当は他の収益活動も行いたいですが、公開空地についてはハードルが高いので、まずはコアパークを行い、発展することを目指して活動しているところです。安定的な形で収入を上げたいものの、不透明なところがあり厳しいところです。</p>
野口委員	<p>企業や行政からバックアップをもらい、広告事業も含めてうまくいっている事例があるので、今度詳しく紹介します。頑張ってください。</p>
山口委員	<p>NECプロボノ倶楽部についての質問ですが、我々がタワーマンションの高齢者に直接アプローチするのは厳しいため、社会福祉協議会や中原区の地域ケア推進課と協働で取り組んでいます。家から出ない人へのアプローチ方法は課題であり、一発逆転は難しいため、地道に愚直にイベントをやり続けるしかないのと、オンラインのラジオ体操など、「場」を提供し続け、色々なところと協力して、高齢者にアプローチすることを行っています。</p>
谷本副座長	<p>ありがとうございました。それでは、定刻になりましたのでまとめに入ります。地域の中で色んな連携が進んでいるということが見て来たかと思しますので、今後も武蔵小杉の地域コミュニティについて議論ができればよいと思います。</p> <p>それでは、意見交換をここで閉じて事務局に進行をお返しします。</p>
鈴木課長	<p>それでは、本日は長時間にわたり、本当にありがとうございました。以上もちまして会議は終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。</p>

令和6年度 コスギコミュニティ推進会議 出席者名簿

2024/7/24開催

		所属・役職	氏名	出欠
1	学識者	法政大学人間環境学部 教授	こじま さとし 小島 聡	欠席
2		法政大学社会学部 准教授	たにもと ゆみこ 谷本 有美子	出席
3		都市プランナー	のぐち かずお 野口 和雄	出席
4	地域団体	川崎市中原区社会福祉協議会地域課 課長	やまもと よしき 山本 良記	出席
5		一般社団法人武蔵小杉エリアマネジメント 理事	あんどう ひとし 安藤 均	出席
6		NECプロボノ倶楽部	やまぐち こうじ 山口 耕史	出席
7	行政	中原区役所 副区長	いまむら けんじ 今村 健二	出席
8		中原区役所危機管理担当 担当課長	あおやぎ つとむ 青柳 努	出席
9		中原区役所企画課 課長補佐	ふかや えいじ 深谷 英司	出席
10		中原市民館 館長	ふくだ えみこ 福田 依美子	出席
11		中原区役所地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域ケア推進課 課長	なみき あさ 並木 麻	出席
12		中原区役所まちづくり推進部地域振興課 課長	すずき ともゆき 鈴木 智之	出席

事務局

中原区役所まちづくり推進部地域振興課 地域コミュニティ強化担当係長	山下 隆裕
中原区役所まちづくり推進部地域振興課 地域コミュニティ強化担当	桃園 優希